



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月29日

上場会社名 空港施設株式会社
 コード番号 8864 URL <http://www.afc.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長
 四半期報告書提出予定日 2020年11月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

上場取引所 東

(氏名) 甲斐 正彰
 (氏名) 濱 隆裕
 配当支払開始予定日

TEL 03-3747-0251
 2020年11月26日

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	12,181	△3.0	2,250	△10.2	2,153	△11.3	972	△36.5
2020年3月期第2四半期	12,559	2.8	2,507	10.7	2,429	20.2	1,532	16.8

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 878百万円 (△32.2%) 2020年3月期第2四半期 1,297百万円 (△1.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	19.49	19.42
2020年3月期第2四半期	30.77	30.63

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	106,859	56,854	50.8	1,088.70
2020年3月期	104,483	56,333	51.5	1,080.48

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 54,338百万円 2020年3月期 53,854百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
2021年3月期	—	7.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,690	3.3	3,960	△5.3	3,210	△15.5	1,310	△41.1	26.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響については、現時点で想定しうる影響を織り込んでおりますが、今後の動向次第では変動する可能性があります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、[添付資料]7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	52,979,350 株	2020年3月期	52,979,350 株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	3,068,337 株	2020年3月期	3,136,206 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	49,877,063 株	2020年3月期2Q	49,783,847 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、年明けより始まった新型コロナウイルス感染症が再拡大し、多くの産業や個人消費及び雇用も落ち込み、未曾有の景気低迷が続いております。4月初めに出示された緊急事態宣言が5月下旬に解除され、その後段階的に経済活動が再開する中、政府による家計や事業への支援策の効果で消費の持ち直しの動きも見られますが、9月末の新規感染者数は依然として4月並みの水準にあり、予断を許さない状況にあります。

我が国航空業界におきましても、国内線・国際線とも新型コロナウイルスの影響による減便や運休が続いております。国内線は、6月中旬の都道府県境をまたぐ移動自粛要請の解除後、運航回復が少しずつ進んでおり、政府のG o T oトラベル効果もあって国内旅行に戻りの動きが見られます。但し、国際線の動きは依然として厳しく、本格的な回復までにはまだ時間がかかるものと思われまます。感染の完全な封じ込めが困難な中、新型コロナウイルスの影響は長期化が想定され、エアライン各社では更なるコスト削減等を進めている状況にあります。

このような経済情勢のもと、当社グループの連結業績につきましては、19年度に竣工した新規物件の稼働等があったものの、新型コロナウイルスの影響により給排水売上が減少し、売上高は12,181百万円（前年同期比3.0%減）、営業利益は2,250百万円（同10.2%減）、経常利益は2,153百万円（同11.3%減）となりました。

また、今期は新型コロナウイルスの影響への対応として、航空関係顧客等に対する賃料債権や熟料金債権の免除（債権放棄損）を特別損失に計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は、972百万円（同36.5%減）となりました。

セグメント別の業績は、次の通りであります。

①不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、19年12月以降に竣工した羽田空港のテクニカルセンター倉庫棟、アークビル機内食工場、及び神戸空港の格納庫増築棟の稼働等により、売上高は9,545百万円（前年同期比1.5%増）となりました。

一方、省エネ化推進等費用の増加により、営業利益は1,738百万円（同6.1%減）となりました。

②熱供給事業

連結子会社の東京空港冷暖房(株)における熱供給事業は、新型コロナウイルスの影響等による需要減もありましたが、羽田の第2ターミナルビルで一部増築があり、売上高は1,724百万円（同2.3%増）となりました。また、費用面では、電気・ガスの燃料費や修繕費が低減し、営業利益は575百万円（同21.1%増）となりました。

③給排水運営その他事業

給排水運営その他事業は、新型コロナウイルスの影響による空港利用者数の急減に伴い、給排水使用量の大幅な減少が続き、売上高は910百万円（同38.2%減）となり、営業損失は64百万円（前年同期は178百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、流動資産のその他に含まれる21年3月竣工予定の関東学院大学国際学生寮新築工事に伴う前渡金の増加や、国有財産年間使用料の前払費用計上等により、前連結会計年度末比2,375百万円増加の106,859百万円となりました。

(負債)

負債は、国有財産年間使用料の未払費用計上等により、前連結会計年度末比1,854百万円増加の50,005百万円となりました。

(純資産)

純資産は、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末比520百万円増加の56,854百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は50.8%と前連結会計年度末に比べ、0.7ポイント減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後、新型コロナウイルス感染症拡大の動向次第で変動する可能性があります。2020年5月14日付の決算短信で発表いたしました2021年3月期の連結業績予想に変更はありません。配当につきましても、同短信に記載のとおり1株当たり14円（うち中間配当7円）を予定しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,518,663	6,484,395
受取手形及び売掛金	1,267,240	2,629,175
リース債権及びリース投資資産	7,286,793	6,898,087
営業貸付金	4,918,584	4,282,094
原材料及び貯蔵品	11,099	11,184
その他	2,240,924	5,908,339
流動資産合計	22,243,308	26,213,277
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	50,412,649	48,879,269
機械装置及び運搬具(純額)	6,365,786	6,199,614
工具、器具及び備品(純額)	420,294	360,526
土地	14,902,098	14,902,098
建設仮勘定	1,537,155	1,699,606
有形固定資産合計	73,637,983	72,041,115
無形固定資産		
ソフトウェア	249,722	225,908
ソフトウェア仮勘定	335,029	378,039
その他	15,219	15,129
無形固定資産合計	599,972	619,077
投資その他の資産		
投資有価証券	6,545,514	6,525,792
長期貸付金	1,332	1,131
繰延税金資産	700,505	707,830
退職給付に係る資産	149,523	128,139
その他	616,108	633,304
貸倒引当金	△10,267	△10,267
投資その他の資産合計	8,002,716	7,985,931
固定資産合計	82,240,672	80,646,125
資産合計	104,483,980	106,859,403

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,117,627	704,483
短期借入金	6,642,749	7,112,235
未払金	935,285	643,521
未払法人税等	567,586	606,459
未払費用	788,460	4,677,886
前受収益	1,117,907	1,145,307
賞与引当金	135,083	151,067
役員賞与引当金	26,715	28,355
固定資産撤去費用引当金	226,392	155,944
その他	330,139	392,930
流動負債合計	11,887,946	15,618,190
固定負債		
社債	6,000,000	6,000,000
長期借入金	23,402,486	21,700,800
長期預り保証金	6,286,570	6,244,665
長期未払金	326,067	246,202
役員退職慰労引当金	2,436	—
繰延税金負債	16,311	15,339
固定資産撤去費用引当金	190,804	112,793
その他	37,965	67,252
固定負債合計	36,262,641	34,387,053
負債合計	48,150,587	50,005,244
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,826,100	6,826,100
資本剰余金	6,982,890	6,982,890
利益剰余金	40,315,327	40,936,557
自己株式	△1,737,829	△1,700,224
株主資本合計	52,386,487	53,045,323
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,682,442	1,665,845
為替換算調整勘定	△214,202	△372,763
その他の包括利益累計額合計	1,468,239	1,293,082
新株予約権	94,722	89,284
非支配株主持分	2,383,942	2,426,468
純資産合計	56,333,393	56,854,158
負債純資産合計	104,483,980	106,859,403

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	12,559,145	12,181,659
売上原価	9,011,708	8,941,795
売上総利益	3,547,436	3,239,864
販売費及び一般管理費		
役員報酬	148,399	132,867
給料及び賞与	232,189	255,595
賞与引当金繰入額	90,414	95,156
役員賞与引当金繰入額	25,740	28,355
役員退職慰労引当金繰入額	696	348
旅費交通費及び通信費	50,375	30,895
減価償却費	11,885	13,745
租税公課	90,103	88,588
その他	389,935	344,063
販売費及び一般管理費合計	1,039,737	989,615
営業利益	2,507,698	2,250,249
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	144,665	29,221
受取手数料	7,580	7,708
為替差益	—	2,684
固定資産撤去費用引当金戻入益	—	39,300
その他	22,355	24,793
営業外収益合計	174,602	103,707
営業外費用		
支払利息	210,795	185,424
固定資産撤去費用	21,348	8,830
為替差損	19,154	—
その他	1,449	5,949
営業外費用合計	252,748	200,204
経常利益	2,429,553	2,153,752
特別利益		
受取保険金	—	143,541
その他	—	2,375
特別利益合計	—	145,916
特別損失		
固定資産除却損	—	22,305
災害による損失	—	35,010
債権放棄損	—	681,702
特別損失合計	—	739,018
税金等調整前四半期純利益	2,429,553	1,560,650
法人税等	781,914	507,252
四半期純利益	1,647,638	1,053,397
非支配株主に帰属する四半期純利益	115,584	80,855
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,532,054	972,542

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,647,638	1,053,397
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△282,932	△16,597
為替換算調整勘定	△67,479	△158,560
その他の包括利益合計	△350,412	△175,157
四半期包括利益	1,297,226	878,240
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,181,642	797,385
非支配株主に係る四半期包括利益	115,584	80,855

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響による会計上の見積りへの影響)

当第2四半期連結累計期間において、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の影響による会計上の見積りへの影響について、重要な変更はありません。